

## 千葉市の公民館の現状・課題及び今後の方向性

今後、公民館は、学びを通じた地域づくりの拠点施設としての役割を充実させるとともに、以下のような環境に的確に対応しながら、持続的・安定的・効果的な管理運営体制を構築する必要があります。

### 公民館を取り巻く環境

- 1 引き続き、厳しい財政状況が続きます。  
(①扶助費の増加 ②勤労者世代の人口減少・高齢化による市税収入の減少 ③人口増加期に整備した都市基盤施設の更新)
- 2 価値観の変化、核家族化及び情報化進展等により地域社会のつながりが希薄化しており、新たな地域づくりが求められています。
- 3 公民館の利用者数は堅調に推移しており、公民館へのニーズは現在も高水準です。

このような中において、公民館が引き続き役割を果たしていくためには、「学習機会の提供」「地域人材の育成・団体活動の支援」「施設の提供」の3つの機能を充実させていくことが必要と考えられます。

#### 1 学習機会の提供

方向	地域課題に取り組んでもらうためのさまざまな学習機会を提供します。
現状 ・ 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・趣味的な講座が多く、地域課題等に対応した講座等が不足している。</li> <li>・単発の講座が多く、参加者同士の交流・学習活動に結び付きにくい。</li> <li>・勤労者層など、幅広い層への働きかけが不十分。</li> </ul>
考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題に関する講座・連続講座等を実施するための組織づくりが必要である。</li> <li>・現在公民館講座を受講していない層へ働きかけるための事業計画・体制づくりが必要である。</li> </ul>

#### 2 地域人材の育成・団体活動の支援

方向	市民自らが地域の課題に取り組む意欲を持ち、地域で仲間作りが行えるよう支援します。
現状 ・ 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に関する相談に対応できていない。</li> <li>・地域課題の把握が不十分である。</li> <li>・ボランティアリーダーなど、活動の中心となる人材を育成する講座が少ない。</li> </ul>
考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談や人材養成講座を実施するための組織づくりが必要である。</li> <li>・団体活動をコーディネートするため、各館の情報の共有化、ネットワーク化が必要である。</li> </ul>

#### 3 施設の提供

方向	より多くの市民の利用を促進します。
現状 ・ 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用団体が固定化する傾向にあり、新規参入しにくい。</li> <li>・高齢者の利用が多く、若年層、勤労世代の利用が少ない。</li> <li>・書面申請のため、利用前に一度来館する必要があるため、勤労世代には使いにくい。</li> <li>・利用される部屋・時間帯が偏っている（特に夜間の利用率の低さ）。</li> </ul>
考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に利用する団体の安定的・継続的な活動の支援と、新規に団体が参入しやすい環境づくりとを両立する必要がある。</li> <li>・地域課題に取り組む団体が継続的・安定的に活動できるよう支援する必要がある。</li> </ul>